

会 議 結 果 報 告 書

平成31年3月11日

会議の名称	平成31年第1回志木市上下水道事業審議会
開催日時	平成31年3月11日（月）午後2時00分～3時30分
開催場所	水道庁舎2階 会議室
出席委員	横内 晃 会長 岩下 正基 副会長 伊藤 満枝 委員 木下 武久 委員 島田 和夫 委員 高橋 好江 委員 高山 裕子 委員 濱岡 慎也 委員 (計 8人)
欠席委員	上野 剛彦 委員 上原 実 委員 (計 2人)
説明者	渋谷 上下水道部長 的場 下水道施設課長 末永 上下水道総務課長 佐藤 上下水道総務課主幹 (計 4人)
議 題	1 議事 （1）志木市下水道事業経営戦略の策定について 2 報告 （1）平成31年度予算書について （2）志木市マンホールふた新デザインの応募について
結 果	1 議事（1）について、事務局から審議会委員に対して説明し、意見交換を行った。 2 報告（1）及び（2）について事務局から報告した。 (傍聴 なし)
事 務 局	渋谷上下水道部長 浅見参事兼水道施設課長 末永上下水道総務課長 的場下水道施設課長 長堀上下水道総務課副課長 佐藤主幹、吉田主事(上下水道総務課) (計 7人)

審議内容の記録（審議経過、結論等）

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 上下水道総務部長あいさつ
- 4 議 事

（1）志木市下水道事業経営戦略の策定について

（説明員）

志木市下水道事業経営戦略（案）について説明する。

計画期間は、平成31年度から平成40年度の10年間である。

策定の趣旨は、保有する資産の老朽化に伴う大量更新期の到来と人口減少等による料金収入減に伴う影響を明らかにし、経営健全化を図ることである。

- ・下水道使用料が周辺市に比べて高くなっているのは、早期に事業に着手したため、起債の利率が高かったこと。地形的な理由により中継ポンプ場や伏越管、宗岡地区の工事、維持管理に費用が掛かることが挙げられる。
- ・3条収支が黒字で見込めることと4条は企業債を活用することで財源を賄うので、下水道使用料の改定はこの計画の中では見込まない。
- ・今後の課題としては、「繰入金確保」「不明水対策」「耐用年数切れの管路の更新」が挙げられる。
- ・パブリックコメントの結果は、1件。ただし、「水道事業の民営化を憂慮しており、この流れを下水道が止めてほしい」というものであり、経営戦略（案）に関わることはないが、意見として受け付け、市の考えを公表する。
- ・民営化、広域化については、まずは、上下共同で「包括業務委託」について志木市の望ましい形を考えていく。

（委員）

下水道事業の今後の主な方向性は、管の更新、施設の耐震化ということで理解してよいのか。

（説明者）

ポンプ場の建物については、耐震化が進んでいる。一方、管路については、未着手である。今後、更新を行う際に補助金をもらうにも耐用年数にかかわらず、使用できないものしか対象にならないので、状況を見極めながら対応して

いく。また、同時に不明水の問題も抱えているので、こちらも並行して進めていかなければならない。

(説明者)

平成 28 年度から 3 年間をかけて污水管およそ 150 km でビデオカメラによる簡易調査を実施しており、緊急的と思われる個所は 27 カ所については、次年度以降修繕を行っている。他は、破損状況に応じて、優先順位をつけ計画的に対応していく。

(中断：東日本大震災に対する黙とう)

(委員)

繰入金について、一般会計の状況で金額も変わってくるということだが、今後、減額されれば、使用料にも影響してくるのでは。

(説明者)

ストックマネジメントなどの計画により必要額が出たからと言ってすぐに使用料改定ということにはならない。繰入は、今後、起債の償還によって不要な部分も出てくるので、計画と必要額等を精査したうえで財政当局と交渉していく。

(委員)

使用料のしくみも分かったし、繰入についても悪いことではないので、必要であるなら交渉してもらおうべき。

(委員)

これらの計画が緻密になっていけば、財政当局との交渉の材料にもなってくると思う。

(説明者)

企業会計では、利益が出たら将来のために留保資金として確保しておきたいが、市では、利益が出れば、それ以上は必要ないというように利益が出ることに對しての認識が違っている。

(委員)

不明水対策は、難しい問題なのか。

(説明者)

地盤的な問題も考えられる。地下水位が高い所では、管をプールの中に入れたような感じで、入り込んでくるところもあることが考えられる。

(説明者)

処理分区ごとに雨天時と平常時との流量の差のデータは流域下水道が持っているので、大まかな場所は分かる。有収率の差については、流域構成市町でも

認識しているが、対応策は今のところ無い。

(委員)

高利率の時に借り入れた企業債の借り換えはできないのか。

(説明者)

借入時に予定されていた利息分を補償金として支払う必要があるため、負担は変わらない。

(委員)

経営戦略の周知方法について

(説明者)

ホームページが中心で、広報などでもお知らせする。

(今後も他の計画との整合性を図りながら、調整を行っていくことを確認のうえ、経営戦略（案）について、審議会の了承を得る。)

(委員)

広報に水道庁舎の場所・住所などが載っていない。

(説明者)

紙面等の問題もあるかと思うが、担当課へ要望していく。

5 報告

(報告者)

平成31年度上下水道予算書は、議会閉会后、お届けする。

(報告者)

市制施行50周年を記念するとともに下水道のイメージアップを図るマンホールふたのデザインを募集する。広報4月号でお知らせする。

(以上で上下水道事業審議会を終了。)